

平成29年6月15日

特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会  
平成28年度事業報告書

平成28年度の事業活動に関し、下記の通り報告いたします。

平成28年度、海外の政治・経済情勢が大きく変化する中、日本経済は企業部門を中心に緩やかに回復した。労働需給のひっ迫やIOT等新技術の進展といった状況から、企業活動における人材育成活動の活発化が期待されたものの、個々の企業におけるプロジェクトマネジメント関連の教育研修に関して顕著な動きは見られなかった。

こうした環境下、当協会が行う2つのPM普及に係る事業のうち、P2M資格試験・講習会事業は受験者・受講者の減少を止められなかったが、PMシンポジウム等のセミナー事業は受講者数を増加させることができた。

## 0. 総会・理事会等の開催、組織に関する件

### 0.1 総会・理事会等の開催

#### (1) 通常総会 6月16日(木)開催

平成28年度通常総会は、総会出席権を有する会員数937名のうち697名(議長への委任状提出者を含む)が参加して開催された。

##### <審議事項>

- 平成27年度事業報告(案)および決算報告(案)の件(可決)
- 平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)の件(可決)
- 役員選任の件(可決) (0.2 (1)参照)

#### (2) 理事会

##### 第1回定例理事会 4月21日(木)開催

##### <報告事項>

- 平成27年度事業報告(案)と決算見通しについて(承認)
- 平成28年度事業計画(素案)と予算(案)について(承認)
- 「PMAJ中期ビジョン」見直しの件(承認)
- PMAJ2016年度組織および責任者について(承認)

##### <審議事項>

- 資格試験制度の一部改定(日本プロジェクトマネジメント資格要綱の一部改定)について(可決)

## 第 2 回定例理事会 6 月 2 日(木)開催

### <審議事項>

- 平成 27 年度事業報告 (案) および決算報告 (案) の件 (可決)
- 平成 28 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) の件 (可決)
- 役員候補者選任の件 (可決)

## 第 3 回定例理事会 10 月 27 日(木)開催

### <報告事項>

- 平成 28 年度上期事業報告 (承認)
- 平成 28 年度事業別収支 (上期実績) 報告 (承認)
- PM シンポジウム 2016 完了・2017 準備状況報告 (承認)

## 第 4 回定例理事会 平成 29 年 1 月 26 日(木)開催

### <報告事項>

- 平成 28 年度事業別収支 (第 3 四半期実績および通期見通) について (承認)
- PMAJ「新春 PM セミナー2017」開催について (承認)
- PM シンポジウム 2017 開催について (承認)

### (3) 運営会議

第 1 回 4 月 19 日(火)、第 2 回 5 月 24 日(火)、第 3 回 6 月 21 日(火)、  
第 4 回 7 月 26 日(火)、第 5 回 8 月 23 日(火)、  
第 6 回 9 月 20 日(火)【台風 16 号襲来のため開催中止】、  
第 7 回 10 月 25 日(火)、第 8 回 11 月 22 日(火)、第 9 回 12 月 20 日(火)、  
第 10 回 1 月 24 日(火)、第 11 回 2 月 21 日(火)、第 12 回 3 月 28 日(火)

## 0.2 組織に関する件

### (1) 新役員選任

6 月 16 日開催の通常総会において、辞任する 4 名の理事 (松本昇一氏、岡昌男氏、芳澤宏明氏、鶴畑清臣氏) の後任として、鳴尾秀樹氏、丸亀秀弥氏、小串記代氏、枝窪肇氏の 4 名を理事に、辞任した松下弘監事の後任として、島田豊彦氏を監事にそれぞれ選任し、同日付で就任した。任期途中の選任であるため、選任される役員の任期は、前任者の残余期間である平成 29 年 6 月 30 日までである。

### (2) 役職役員選任

6 月 16 日開催の通常総会において、新規役職役員として、山根哲博氏を副理事長に選任し、同日付で就任した。

### (3) 職員の異動

4 月 1 日付で 1 名 (橋本 肇) が就任した。

1. 会員の状況 (会員数は、3月31日現在：会費納入者数に特別会員数を加えた数)

1.1 個人会員	1,313名	(前年度末	1,344名)
1.2 法人会員	86社	(前年度末	89社)
法人正会員	73社	(前年度末	77社)
法人賛助会員	1社	(前年度末	1社)
法人特別会員	12社	(前年度末	11社)

【会員会費収入】

単位：千円

	平成27年度実績	平成28年度計画	平成28年度実績
個人会員会費収入	7,559	7,500	7,322
法人会員会費収入	9,238	9,300	9,388
会員会費収入	16,797	16,800	16,710

2. 事業

2.1 資格認定事業

PMS 資格および PMS プログラム試験を 3 回（6 月、10 月、2 月）、PMC 資格試験を 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）、CBT (Computer Based Testing) 方式により実施した。

- ① PMS プログラム試験の受験資格を拡大（PMP 等他資格保有者に受験資格付与）したこともあり、応募者数は前年度を上回ったが、PMS 資格試験の受験者数の減少をカバーするまでには至らなかった。
- ② PMC 資格試験は、上期中は不調であったが下期には前年同月を上回る応募者数であった。結果として、前年実績に僅かに届かなかった。
- ③ PMR 資格試験は、無料の PMR 試験紹介セミナーを開催するなどして受験者獲得に努め、5 名の応募者を得た。これにより、前年度は中止となった二次試験の実施が可能となり、5 名が PMR 資格を取得した。

【応募者数】

単位：名

資格種類	平成27年度実績	平成28年度計画	平成28年度実績	平成28年度合格者実績
PMS 資格	249	250	191	90
PMS 資格 (PMS プログラム試験経由)	60	60	86	45
合計	309	310	277	135
PMC 資格	296	300	288	177
PMR 資格	1	7	5	5

【資格認定収入】

単位：千円

	平成27年度実績	平成28年度計画	平成28年度実績
資格認定収入	20,506	21,550	18,660

## 2.2 P2M 講習・研修

- ① PMC 講習会は年 6 回開催（第 1 回： 4/20～4/28、第 2 回： 6/14～6/23、第 3 回： 7/30～8/27、第 4 回： 9/28～10/6、第 5 回： 11/5～11/26、第 6 回： 2/8～2/16）、PMS 講習会は年 3 回開催（第 1 回：4/20～5/19、第 2 回：7/30～9/24、第 3 回： 11/5～12/24）、PMS プログラム講習会は年 3 回開催（第 1 回：5/11～5/19、第 2 回： 9/3～9/24、第 3 回： 予定 12/3～12/24）を計画した。
- ② 実績は、PMC 講習会は年 5 回開催（第 1 回は申込者数不足（3 名）で中止）、PMS 講習会、PMS プログラム講習会は年 3 回開催したが、受講者数の減少は止められなかった。
- ③ 受講者数は平日コース 40 名、土曜コース 28 名となっており、平日コースを選択する者が多い事を示している。
- ④ e-ラーニングは前年実績を若干下回ったものの、高い数字を維持している。
- ⑤ 講習会受講者数の減少に対応して、講習日程の見直し、PMS プログラム試験の受験資格拡大に連携した講習受講への誘導策等を検討する必要がある。また、企業講習会の拡大等による減少分カバーに注力する必要がある。

### 【受講者数】

単位：名

資格種類	平成 27 年度実績	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績
PMS 講習会	20	20	8
PMS プログラム講習会	54 = 6+(48)	60	4+(29)
PMC 講習会	357 = 76+(281)	360	56+(263)
P2M 実践力養成研修	—	5	5

(注) PMS-P、PMC の ( ) 内数字は、プロバイダ集合研修+e-ラーニングの数字

### 【P2M 講習・研修収入】

単位：千円

	平成 27 年度実績	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績
P2M 講習研修収入	19,122	16,300	10,907

## 2.3 PM 一般研修

- ① PM 研究・研修部会セミナー（6 回）、PMP®試験対応講座（2 回）、PMBOK®ガイド 基礎講座（2 回）を実施した。
- ② 共催契約先が実施する PM 公開講座の受講者増加に伴い、実績額は前年を上回った。

### 【PM 一般研修収入】

単位：千円

	平成 27 年度実績	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績
PM 一般研修収入	2,308	1,940	3,606

## 2.4 PM 法人研修

### (1) PM 法人研修

#### (1 - 1) 官庁対象の活動

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構（略称 JST）向けプログラムマネージャー育成・活躍推進プログラムサポート（2016年10月～2017年6月）：講師派遣
- ② 実践的ソフトウェア教育コンソーシアム（P-sec）FD キャンプへの参加（8月23・24日）於：はこだて未来大学
- ③ NEDO（新エネルギー産業技術総合開発機構）PM 育成講座 2017/2 講師派遣
- ④ HIDA PHPP 講座 2017/3 フィリピン向け 低炭素社会への P2M の応用
- ⑤ JICE（日本国際協力センター）2016/11 インドネシア官公庁向け P2M 講座  
2017/2 イラン官公庁向け P2M 講座
- ⑥ 長野県北信三市 職員向け PM 講座 2016/8～10月

#### (1 - 2) 法人対象の活動

- ① JAPEX（石油資源開発株式会社）PM 研修 2016/10

### (2) 大学 PM 講座

以下の大学・大学院で P2M 講義、授業等を行った。

- ① 北陸先端科学技術大学院大学（継続）
- ② 明治大学グローバルマネジメント学科（継続）
- ③ 明治大学経営学部（継続）

#### 【PM 法人研修収入】

単位：千円

	平成 27 年度実績	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績
企業・団体・大学 講習会等収入	10,835	9,800	11,124

## 3. 会員活動

### 3.1 PM シンポジウム

9月1～2日に開催した「PM シンポジウム 2016」は、有料申込者数 1,291 名、両日延参加者 2,576 名となり、盛況裡に終了した。今年度の特記事項は次の通り。

- ① 昨年に比べ 14%強の増員であり、2年続けての参加者増となった。  
1日目と2日目の参加費用を同額にしたことにより、昨年に比して1日目は92名の増加に対し2日目は192名の大幅な増加となった。
- ② 今回取った具体的な集客施策として、シンポジウム実行委員会の下に「広報タスクフォース」を組み、業界・会員別にプログラムの配布、ダイレクトメール、訪問等の対応を行なったことが、増員効果を産み出している。
- ③ 毎年変わるプログラムの運営に対するボランティアスタッフの入念な準備、量的増加、質的レベルアップは評価された。
- ④ 2日目のプログラムに、昨年導入した75分枠の講演を16セッションから24セッションにしたことにより、参加者の選択肢が増えたことも2日目参加者の大幅増の一因となった。

### 3.2 例会

東京例会	毎月 1 回開催 (第 4 金曜日)		
●209 回	4/22	川勝良昭講師	「新しいビジネスの創出」
●210 回	5/27	丸山有彦講師	「プロジェクト成功の鍵となる文書化手法」
●211 回	6/24	吉田則子講師	「PMに必要な「聴く力」」
●212 回	7/22	和泉憲明講師	「多様な人材・スキルを前提としたプロジェクト計画と品質向上」
●213 回	8/26	杉浦和史講師	「プロジェクトを成功に導くポイント」
●214 回	9/23	尾崎健一講師	「ドラッカーとメンタルヘルス」
●215 回	10/28	藤井 薫講師	「グローバルとイノベーション」
●216 回	11/25	小原由紀夫講師 三浦進講師	「米国 PMI® グローバル会議北米大会 2016 参加報告」
●217 回	12/16	浅沼 宏和講師	「サイバーリスクのマネジメント」
●218 回	1/27	石川 博子講師	「心の知能指数を上げるマインドフルネス」
●219 回	2/24	柴崎 健一講師	「震災復興を語る」
●220 回	3/24	渡部 寿春講師	「イベントマネジメント」

### 3.3 PMAJ 関西

#### (1) 関西例会

関西例会は 4 月、7 月、9 月、10 月、11 月、2 月、3 月に 7 回開催した。

●127 回	4/8	岸田吉弘講師	「事業コンセプトと組織 京都と上海で考え続けたこと」
●128 回	7/8	北村保成講師	「組織変革の考え方とアプローチ」
●129 回	9/9	金城貞美講師	「自分を見つける！今こそチャレンジ」
●130 回	10/14	平石輝彦講師	「松下幸之助の『お客様第一』と要求工学について」
●131 回	11/11	高井利憲講師	「意思決定における根拠に基づく説明と納得を伴う合意形成手法の紹介」
●132 回	2/10	小田久弥講師	「結果を出す「強いプロジェクトチーム」になろう」
●133 回	3/10	天野賢二講師	「テクノロジー・イノベーションセンターにおける研究開発テーマ創出活動と持続的運営のための仕組みづくり」

## (2) 関西 P2M セミナー2016

関西 P2M セミナー2016 は、経済産業省近畿経済産業局、エンジニアリング協会、IT コーディネータ協会の後援、ITC 近畿会/IT コーディネータ京都の協賛を受け、6 月 11 日（土）エル・おおさか（大阪府立労働センター）において「新たな価値創造へのチャレンジ」をテーマに開催された。

同セミナーでは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）長谷川義幸氏による基調講演、寺村英雄氏（㈱グルーCEO）および川口加奈氏（NPO 法人 Homedoor 理事長）による P2M 実践講演、3 名の講師によるパネルディスカッションが行われ、有料参加者 68 名（前年 60 名）を得て、盛会に終了した。

## (3) PMAJ 関西 P2M 研究部会平成 28 年度

第 1 回 関西 P2M 研究部会：ワークショップ（開催：2016. 6. 18）

第 2 回 関西 P2M 研究部会：ワークショップ（開催：2017. 1. 21）

第 3 回 関西 P2M 研究部会：ワークショップ（開催：2017. 3. 18）

第 1 回 関西 P2M 研究部会：定例会（開催：2016. 5. 21）

第 2 回 関西 P2M 研究部会：定例会（開催：2016. 10. 8）

第 3 回 関西 P2M 研究部会：定例会（開催：2017. 2. 18）

## 3.4 会員交流セミナー

### (1) 新春 PM セミナー2017（東京）

平成 29 年 2 月 10 日（金）に一橋大学一橋講堂で開催。有料参加者 538 名と 2 年連続して満員となった。

### (2) 地域 P2M セミナー

中四国（Agile・6 月 4 日 28 名）、中部（10 月 8 日 44 名）、中四国（11 月 26 日 24 名）、九州（12 月 10 日 32 名）で P2M セミナーを開催。

### (3) 「PMR クラブ」

PMR 資格者による「PMR クラブ」を 6 回開催。

（5/10、7/12、9/8、11/8、1/18、3/15 実施）。

### (4) 「P2M クラブ朝食会」

平成 26 年度新たに計画した P2M 資格者を対象とする「P2M クラブ朝食会」を 6 回開催。（4/13、6/8、9/14、10/12、12/14、2/8 実施）

### (5) 「異業種交流会（PMAJ Networking）」

会員、非会員を対象とした「異業種交流会（PMAJ Networking）」を 6 回開催。（4/7、6/16、8/18、10/20、12/15、2/16 実施）

(6) 「PM マイスター制度」

- ① PM 経験豊富なシニアを PM マイスターとして認定し、その保有する経験・スキル・ノウハウを企業の現役の中堅従業員に対して伝授することが狙いとして平成 27 年度より「PM マイスター制度」を創設した。
- ② 平成 27 年度第 11 回運営会議で向後忠明氏および葉山博昭氏を、平成 28 年度第 4 回運営会議で竹久友二氏および石倉政幸氏を PM マイスターとして選任した。上記四氏に対する PM マイスター認定式を、PM シンポジウム 2016 初日に第 3 回 PMAJ 表彰と同時に執り行った。
- ③ 平成 28 年度より PM マイスター候補者による【私の経験則】講座を正式実施することとし、下記の通り実施した。
  - 向後忠明講師「海外でのプロジェクト失敗と成功から学ぶ」(4/18)
  - 葉山博昭講師「ICT リスク管理を中心とした PMO」(7/8)
  - 石倉政幸講師「成功事例から学ぶ失敗しないプロジェクトマネジメント」(11/7)
  - 竹久友二講師「緊急開発 BPR システム 組織と人をいかに生かすか」(12/9)

(7) 「PMAJ 七夕納涼会」～七夕放談の夕べ～ (無料：7/7)

「PMAJ 新年会」～新春放談の夕べ～ (無料：1/13)

3.5 P2M 研究部会 (東京、関西、中部、中四国、九州)

(1) 活動連絡報告会

8 月 31 日(水) (PM シンポジウム開催前日) 各地域研究部会の代表による活動連絡報告会を昨年に引き続きタワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール) において実施した。

(2) 各地域 P2M 研究部会

- ① 4/16 第 32 回 九州 P2M 研究部会開催  
6/25 第 33 回 九州 P2M 研究部会開催  
8/20 第 34 回 九州 P2M 研究部会開催  
10/8 第 35 回 九州 P2M 研究部会開催  
11/5 第 36 回 九州 P2M 研究部会開催  
2/18 第 37 回 九州 P2M 研究部会開催
- ② 8/27 第 26 回中部 PM 交流会開催  
12/17 第 27 回中部 PM 交流会開催  
2/18 第 28 回中部 PM 交流会開催



### 3.6 SIG (Specific Interest group) 活動

#### (1) IT ベンチマーキング SIG

- ① TPS に学ぶ PM」ワーキンググループ(WG)
- ② 「PS (Partner Satisfaction) 研究会 : MM4 タスク」WG  
((一財) 日本科学技術連盟と協力)
- ③ 「事例に基づく PM 問題集研究」WG

#### (2) ビジネス・イノベーション SIG

#### (3) ウーマンズ SIG

セミナー5回開催 (5/17、8/4、9/15、11/17、1/16)

#### (4) ワークブレイクダウンストラクチャー(WBS)SIG

#### (5) R&D (研究開発のためのプロジェクトマネジメント) SIG

### 3.7 広報普及

#### (1) PMAJ News・ジャーナル

##### ① PMAJ News の配信

PMAJ News を引き続き月2回配信。対象は PMAJ 会員、PMAJ 非会員、資格試験合格者、シンポジウムなどの PMAJ 活動参加者等、8,500 名に配信している。

##### ② PMAJ ジャーナル発行 (年3回発行)

配布の迅速化とコスト削減を図るため、55号より WEB 版を開始した。

- 55号 特集「新春 PM セミナー」/投稿レポート 4月
- 56号 特集「関西 P2M セミナー」/投稿レポート 8月
- 57号 特集「PM シンポジウム 2016」/投稿レポート 11月

【会員活動収入】

単位：千円

	平成 27 年度実績	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績
PM シンポジウム収入	27,260	27,300	33,612
その他会員活動収入	3,784	6,810	6,540
会員活動合計収入	31,044	34,110	40,152

### 4. 研究開発

#### 4.1 教材開発

- ① 書籍「プロジェクトの概念」の教育用指導書の充実を図る。
- ② 書籍「プロジェクトの概念」の高専、大学、大学院での教科書の採用へ向けた市場開拓を図る。
- ③ 書籍「プロジェクトの概念」2版 出版への編集 2017年/秋出版予定

#### 4.2 改訂3版 P2M 標準ガイドブックの普及

法人会員企業に対する概要セミナー

METI (経済産業省)・JSA (日本規格協会) 向け (2/28) に実施した他、法人会員企業1社を対象に行なった。

### 4.3 国際交流

#### (1) 国内外における P2M 認知度の向上／拡大等

グローバル化推進部において、国内外における P2M 認知度の向上／拡大等のための具体案を立案し実施。

- ① METI / Facebook NIN2 (NIppon New Network for Innovation) -P2M の活用。  
4 月より NIN2. P2M を立ち上げ投稿を続けている。P2M 豆本と PM 入門(ABC) の投稿を完了し、Project Diary (A4 1 ページ PM 関連記事)と P2M easy and practical Guide (P2M を細切れに解説するもの)、P2M クラブ等のイベントを毎週投稿している。1 年間継続しアクセスも上がって来ている。
- ② GAPPS(Global Alliance for Project Performance Standards) TLF35 (Thought Leadership Forum-35) 6 月フランス(リール)へ PMAJ より 2 名が参加し、2014 年 5 月 WS31(Workshop 31)で翻訳版を待ち止まっていた P2M Program Management の Mapping (他 Std との比較)協議を終了し、正式に GAPPS HP に掲載された。P2M Program Management は GAPPS 基準との比較において他標準より多くをカバーしている。
- ③ P2M 改訂 3 版英訳電子版の作成。年度内で原稿作成を完了した。

#### (2) 国内 PM 人材のグローバル活動に向けた海外 PM 関係団体との交流継続

- ① PMI®、IPMA®、APFPM (Asia Pacific Federation of Project Management)、GAPPS、フランス、セネガル、他) との交流を継続。
- ② PMI ® Global Congress 2016-North America / San Diego, ～ ENAA/PMAJ の代表として参加、11 月例会で報告。
- ③ 韓国 PM 協会(Korea Project Management Association :KPMA )交流継続。  
PM Symposium 2016 への招待講演。PMAJ から KPMA 大会での講演。
- ④ (1) ②GAPPS TLF35 への参加。

#### (3) その他

- ① PMAJ Home Page 英語版の充実 (継続)

### 5. 表彰に関する件 (第 3 回 PMAJ 表彰と表彰式)

PMAJ では、プログラムマネジメントおよびプロジェクトマネジメントの分野において優れた講演、活動、貢献をされた個人およびグループ (法人含む) に対する表彰制度を平成 26 年度より創設している。「特別優秀賞」「優秀貢献賞」「PMAJ 特別賞」「優秀講演賞」の 4 種の賞を設け、受賞者の選考に当たっては、協会内に「表彰委員会」を設け、会員の皆様からの推薦者を基に審査を行い決定している。

平成 28 年度においては、平成 28 年 9 月 1 日開催の PM シンポジウム 2016 の懇親会に先立ち第 3 回表彰式を執り行い、「優秀貢献賞」「PMAJ 特別賞」「優秀講演賞」各 3 名、計 9 名を表彰した。